

## 仕事をがんばるお父さん

神奈川県 湘南白百合学園小学校六年 民上 茉優

お父さんが行方不明。その日の夜、私が寝ようと準備していたら、お母さんが、

「お父さんと連絡が取れないんだけど、どうしたんだろう。」

と、心配そうな声で言いました。いつもなら、携帯電話で連絡してくる時間なのに、電話がつかないのです。私は、お父さんが変な事件に巻きこまれて行方不明になったんじゃないかと不安で眠気も吹っ飛び、いてもたってもいられなくなりました。お母さんは何度も何度もお父さんの携帯電話にかけたり、勤務先にも電話を試みたりしたけれど、まったく連絡がつかないまま、夜中を過ぎてしまいました。私は、「警察に連絡しようよ。」

と、お母さんに言いました。お父さんがいなくなったらどうしよう。私は不安で泣きそうになりました。学校に通い続けられるのかな、バレエは続けられるのかなとか色んな心配が頭の中をぐるぐる回りました。夜中の二時を過ぎた時、お母さんの携帯電話が鳴りました。お父さんからでした。私は、涙が出るほどほっとしました。

私のお父さんは、大学勤務の外科医です。この日、お父さんは仕事を終えて帰ろうとしたら、突然緊急手術に呼ばれてしまい、家に連絡を入れる時間もなく八時間の手術になってしまったそうです。私はお父さんに、

「死ぬほど心配したんだから！」

と、怒って言いました。お父さんは、「ごめん、ごめん。大変だったんだよ。」と、笑いながら言いました。

私のお父さんは、胃と食道の手術が専門で、十時間ぐらいの手術をすることも多いそうです。いそがしくお昼ごはんを食べられない時はしょうちゅうだし、病院に泊まりこんで、家に帰れないときもあります。休みの日は、月に日か二日ほどしかありません。お母さんに聞いたこと、大晦日の新年になる直前に、緊急手術で呼ばれて出かけて行ったこともあったそうです。せつかくの休みの日も患者さんのことが心配だからすぐ病院にかけつけられるようにと、遠くに出かけないこともあります。お父さんはいつも患者さんのことを一番に考えているのだと思います。患者さんからお礼と感謝の手紙をもらうこともあるそうで、私は、そんな立派なお医者さんであるお父さんを、とてもほこりに思っています。

家では、どんなに疲れて帰って来ても、私と愛犬と一緒で遊んでくれたり、年に一度は家族旅行にも連れて行ってくれて、家族のことも患者さんと同じように大切に思ってくれているお父さんです。お父さん、いつも家族のために一生懸命働いてくれてありがとう。お父さんのあとをついでお医者さんになれるかどうかかわからないけれど、私はいつもお父さんを尊敬していて、いつも感謝の気持ちでいっぱいです。